

AI時代の雇用のあり方

2017年5月12日

NIRA総合研究開発機構

神田玲子

AIが雇用に与える影響

主要な課題

- 前提とするAIの定義は何か。 ⇒ 特化人工知能vs.汎用人工知能
- AI時代の人間に求められる能力はどう変わるのか。 ⇒ AIの限界vs.人間の強み
- 雇用の代替か、創出か。 ⇒ Task vs. Occupation
- 社会経済システムの変化をどう捉えるべきか。 ⇒ 第四次産業革命/第二機械時代

研究会メンバー：大内伸哉 神戸大学(法学)、柳川範之 東京大学(経済学)、
新井紀子 国立情報学研究所(数理論理学)

基本的な方向性

<全体>

- 当面のAIは効率化が主。それでも影響は大きい。
- AIによるインパクトは、制度・経営戦略・教育などに大きく左右される。

<雇用制度>

- 正社員の働き方⇒職務型の働き方が一般に
- 企業内訓練⇒自学による習得(キャリア権)
- 雇用者のための労働法⇒自営的就業者の支援